

経営比較分析表（令和6年度決算）

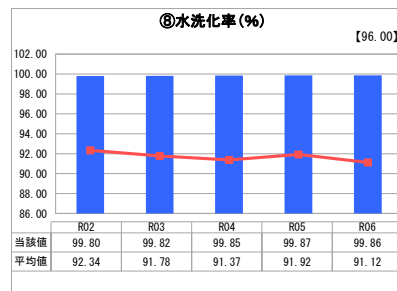
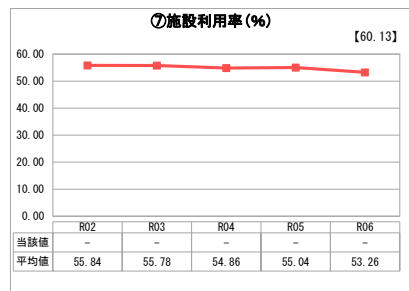
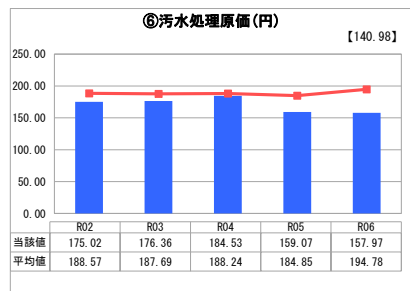
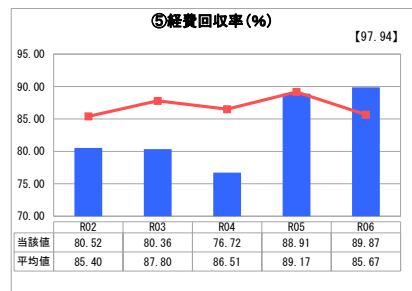
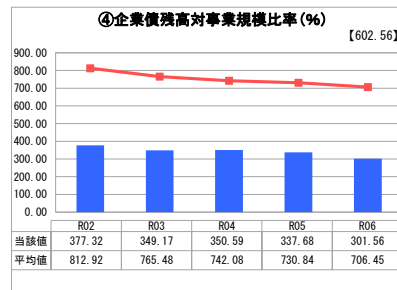
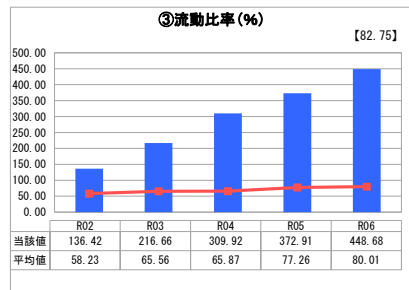
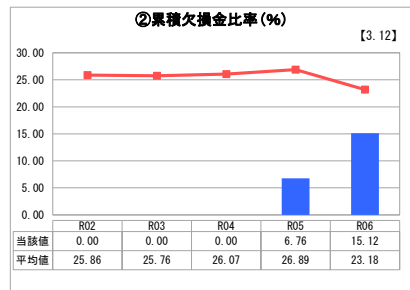
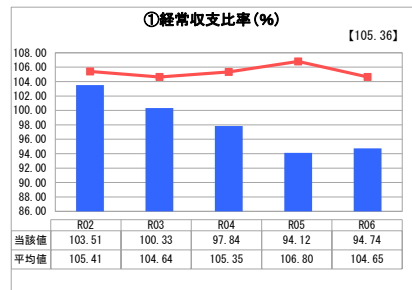
北海道 芽室町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	82.84	79.48	71.91	3,037

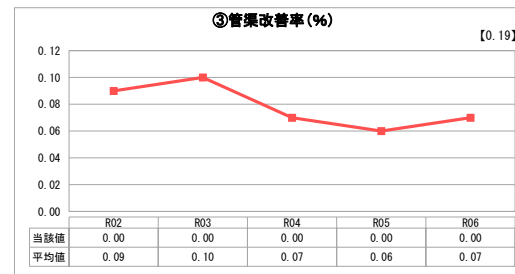
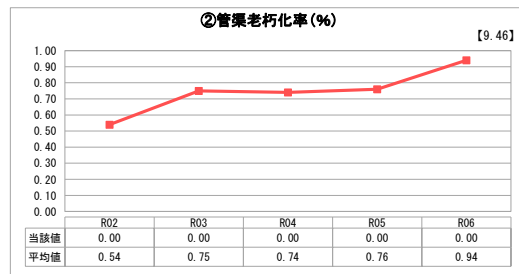
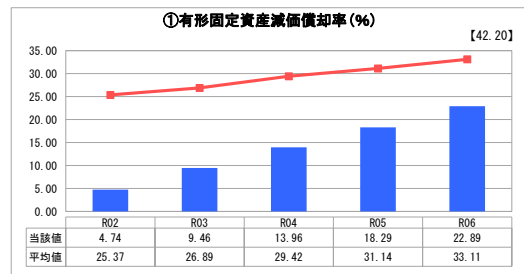
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,773	513.76	34.59
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
14,031	7.46	1,880.83

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は94.74%と前年度より微増したものの、引き続き100%を下回っており、その結果として累積欠損金比率が15.12%まで増加している。収支の均衡を図るため、適正な料金水準への改定検討が必要な状況にある。

企業債残高対事業規模比率については、水洗化率が99%を超え、汚水整備が概ね完了しており、事業拡大による大規模な投資がないことから、類似団体平均より大きく下回る水準で推移している。

2. 老朽化の状況について

管渠は昭和50年以降の整備であり、標準耐用年数(50年)の到来が目前に迫っている。一部経年劣化の進んだコンクリート管渠については、計画的に更正工事を実施している。

ポンプ場等の設備についても、計画に基づき機器の更新を実施しており、今後も機能維持に向けた計画的な更新を進めていく。

全体総括

今後は施設の老朽化が進み、更新費用が増加する見込みであることから、令和6年度に改定した経営戦略に基づき効率的な事業運営に努めるとともに、令和8年度に予定している使用料改定検討により、持続可能な経営に向けた料金水準について検討を進める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。